



48 (甲南町深川) 森田 敏光さん

草野球で広がる交流の輪

楽しみながら体を動かすチームスポーツとして子どもからお年寄りまで多くの人々が楽しむ草野球。田んぼで遊んだ小学生のころに始まり、半世紀以上にわたり野球を楽しんでいる森田敏光さん。現在はシニアベースボールクラブの監督やスポーツ少年団の指導者などを務めながら、ご自身も現役でプレーされています

一球一打ごとにいろんなことを考えプレーするところが野球の醍醐味、そしてわきあいあいと団円で楽しく盛り上がるところが草野球の魅力という森田さんは、今までに地元のスポーツ少年団や市内のシニア野球協会の立ち上げにも携われ、野球の楽しさを広めてくれました。

中でも、たくさんの珍プレーとたまに出る好プレーで大いに盛り上がるというシニア野球は、現在市内から5チーム約130人が参加、年間を通じてリーグ戦で行われ、健康増進と交流の場となっています。

「勝負ですから勝つに越したことはないのですが、それ以上に、健康的に楽しくやればよいと思います。そしてそこから生まれる交流を大切にしたいです。」と話す森田さん。今月には、甲賀市、三重県伊賀市、亀山市のシニアチームでの交流試合を企画されています。

イメージと体の動きのギャップが悔しくもあり楽しくもあるという森田さんですが、交流試合、そして4月に開幕するシニアリーグに向け現在は自主トレ中とのこと。

「これからも、もっと多くのチームが参加し、野球を通じていろんな交流ができればと思います。スポーツは楽しいものです。楽しくないと長続きしません。健康のためにも多くの人に生涯スポーツに参加をしてほしいと思います。」と話す森田さん。交流の輪は、これからも広がっていくことでしょう。



シニアリーグでプレーする森田さん



水口囃子の演奏にチャレンジ

水口囃子 子ども体験教室

水口曳山祭で演奏される水口囃子を体験する教室が2月12日、碧水ホールで行われました。

この日は、水口囃子の伝承を目的に活動されている、水口ばやし水口囃子の皆さんの指導により、市内外から集まった子どもたちが、太鼓や鉦の鳴らし方を、昔から伝わる伝承方法で学びました。

日本一難しい囃子ともいわれる水口囃子、最初はリズムや音の強弱を合わせるのに苦労の様子でしたが、熱



▲真剣な表情で演奏する子どもたち

心な指導と練習で、最後にはピタリと合い、指導の皆さんからは驚きの声が上がりました。

ニンニン忍者冬キャンプ

冬の修練場で甲賀忍者の足跡たどる

真冬の飯道山に登り、甲賀忍者やその地に伝わる歴史を学ぶニンニン忍者冬キャンプが2月6日に行われました。この日は市内の小学生7名が参加、貴生川公民館から飯道山の山頂へ向かいました。暖かい日が続きましたが、市内の雪はすっかりなくなつたこの時期でしたが、山の中には雪がどっさり。やさしい行程ではありませんでしたが、児童は忍者さながらの軽いフットワークで登頂を果たしました。また、飯道神社では桃山様式の本殿や周囲の巨石を間近で見学。歴史を学ぶとともに甲賀忍者の雰囲気を感じることができたようです。



▲急な山道を登る児童



元気なまちかど

市内中学生がアメリカへ海を越えた絆深まる②

本紙2月15日号にも掲載した甲賀市中学生の交流事業。

今回は、デウィット市への訪問を紹介させていただきます。今月号では、ミシガン州マーシャル市への訪問団の様子を紹介します。

今回、マーシャル市を訪問したのは、市内の中学生10名で、1月7日から15日までの9日間にかけて訪れました。

滞在中は、マーシャル市の中学生宅にホームステイし、アメリカの食文化や生活などを体験しました。

またマーシャル市の中学校へも登校、授業にも参加した他、ミシガン州立美術館や州立大学を見学し、日本文化との違いなど、多くを学ぶことができました。

マーシャル市・デウィット市の両市に派遣した計20名の中学生は、訪問先で、甲賀市の魅力をPRするなど、市の外交官としても、その役割を立派に果たすことができました。

甲賀市・マーシャル中学生交流

▼マーシャル市の生徒と交流を深める訪問団の皆さん



プロの話芸に親しみ仲間との絆考える

甲南ふれあいじんけん寄席



▲講談を演じる市内出身の講師旭堂南湖さん

かえで会館で1月29日、古典芸能の若手による甲南ふれあいじんけん寄席が開催されました。

市人権教育推進協議会甲南支部が主催。甲南出身で講師の旭堂南湖さん、浪曲師の春野恵子さん、落語家の笑福亭生寿さんが出演し、来場者はプロの話芸に親しみながら、人を大切にする心や仲間との絆について考えました。

各地の講演会などで甲賀市をPRしながら活躍中の旭堂南湖さんは、文化庁芸術祭新人賞を受賞した人情噺「柳田格之進」を公演し、巧みな話術で会場を魅了しました。

シェフの技を間近で習得

信楽小学校 食の匠の食育出張講座

信楽小学校で2月8日、シェフに料理を学ぶ講座が行われ、5年生児童が一流の技を学びました。

この日は、県内のホテル、レストランで活躍されるシェフ8名が来校、天然ヒワマスのソテーや瀬田しじみのミネストローネなど、県内産の食材を使った洋食の作り方を指導しました。

児童は、シェフの皆さんに加熱の加減や味付けのタイミングなど細かくアドバイスを受け、おいしそうな料理を完成させました。

完成した料理は、シェフの皆さんと一緒に味わいました。児童は、料理に関する質問などをしながら、楽しく、おいしくいただくことができました。



▲自分たちでつくった料理を味わう児童